

「職業実践専門課程」認定校

令和4年度

# 学校関係者評価委員会



学校法人 大庭学園  
沖縄福祉保育専門学校

# 自己点検・評価表(2022モデル Ver. 2.0)

実施日: 令和5年3月14日

学校名: 沖縄福祉保育専門学校

## 1. 学校の教育目標

- (1)高福祉、広福祉社会を支える福祉人材の育成をする。
- (2)時代や社会のニーズに対応する福祉の理論・技術・実践力を教授し、福祉専門職の質的向上を目指す。
- (3)保育、幼児教育を生涯福祉の出発点と考え、その専門性を研ぎ望ましい人格形成のための教育を学問的、実践的に行う。
- (4)授業形態は、講義・実習・演習・課題別研究等のバランスを考え教育課程を充実させる。
- (5)感性・知性・倫理観を啓発して、好ましい社会観、世界観を培う。
- (6)短大との併修・連携を積極的に推進し、教育内容の高度化を図り、福祉資格の取得を充実させる。
- (7)福祉関係資格取得のための発展的学習システムをつくり、学生のニーズに応える。
- (8)ボランティア実践を通して広福祉教育を展開させる。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)学育・50分授業改革
  - ①クラス運営→朝のホームルーム実践充実
  - ②ポリシー見直し
  - ③ポートフォリオ実践
- (2)学校、各科ごとの魅力づくり
  - ①「待つ保育」の深化
  - ②「外国人介護リーダー」を育成する
  - ③社会福祉士とソーシャルワーカー「世界的視野」
  - ④精神保健福祉士とスクールソーシャルワーカー
  - ⑤保育通信とごども家庭福祉ソーシャルワーカー
- (3)相談支援体制の深化
  - ①就職支援体制強化
  - ②教員(非常勤)のハラスメント対策
- (4)新学科の準備(計画立案)
  - ①重層支援地域福祉学科(夜間)
  - ②保育夜間(復活)
- (5)こども園・保育所ごとの個性魅力
  - ① リカレント教育

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

1 教育理念・目標			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス	
1	1	中項目 理念・目的・育成人材像(教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)						
1	1	1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	④	3	2	1	HP、実習要項 学習のしおり、講師会資料
1	1	2 学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	④	3	2	1	HP、パンフレット、学習のしおり
1	1	3 教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	④	3	2	1	掲示物、HP、学習のしおり
1	1	4 学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	④	3	2	1	HP、パンフレット
1	2	中項目 教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)						
1	2	1 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	4	③	2	1	学習のしおり、講師会資料、実習要項 学育カリマネ委員会資料

1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか (学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	4	③	2	1	教育課程編成委員会、実習指導者連絡会 学校評価委員会、
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	④	3	2	1	HP、パンフレット

① 課題

- 各学科の教育目標、育成人材像の周知や浸透が課題。
- 連携する実習先へのリサーチが実施できていない。

② 今後の改善方策

- 各学科の教育目標、育成人材像の学生・教職員への周知機会を設ける。
- 連携する実習先へのアンケートを実施する。

③ 特記事項

2 学校運営			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
2	1	中項目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	4	③	2	1	部署目標
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	4	③	2	1	部署目標
2	2	中項目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	4	③	2	1	部署目標
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	④	3	2	1	学習のしおり
2	3	中項目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	A	④	3	2	1	寄付行為
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	3	2	①	
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	3	2	①	組織図のみ
2	3	4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか	B	④	3	2	1	議事録
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	④	3	2	1	出勤簿
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	④	3	2	1	健康診断案内, 特定検診結果一覧
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	4	③	2	1	エレベーター, 電気, 消防設備等点検結果報告書

2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員的能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	4	③	2	1	養成施設申請書
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	3	2	1	
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	3	2	①	
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	③	2	1	組織図
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	③	2	1	研修計画起案及び実施記録
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果を評価し、文書により記録しているか)	A	④	3	2	1	先端技術利活用実証事業実績報告書
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	B	4	③	2	1	目標面接シート
2	4	24	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	3	2	①	
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、 <b>専門能力開発の計画を作成しているか</b> (教職員研修計画の作成)	B	4	3	2	①	
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	④	3	2	1	非常勤講師懇談会開催要項等
2	5	中項目	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	③	2	1	就業規則, 人事評価制度
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	③	2	1	賃金規程
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	2	①	
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	3	2	①	
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか(情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	A	4	③	2	1	一部ACCESSやPower Automate等により構築している。また、教務システムの新規開発に取り組んでいる。

① 課題

文書化されていない規程があり、責任の所在が不明確な部分が存在する。

② 今後の改善方策

会議規程等、特に意思決定に係る規程の整備を進めている。

3つのポリシーなどの整備も行っており、ディプロマからアドミッションまでの一連の流れを各学科で検討を進めている。

③ 特記事項

特になし

3 教育活動			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
3	1	中項目	目標の設定(教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか)						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針(カリキュラムポリシー)を明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	4	③	2	1	学習のしおり、実習要綱、学育カリマネ委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	4	③	2	1	各学科カリキュラム、カリキュラムマップ、学習のしおり
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	③	2	1	ホームページ、学習のしおり、実習要項学育カリマネ委員会資料
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか)						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	④	3	2	1	カリキュラム、学習のしおり、カリキュラムマップ
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	④	3	2	1	シラバス、ホームページ
3	2	3	各科目の一コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	4	3	2	①	一部講師のみ
3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	B	4	③	2	1	シラバス、ホームページ
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか(教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	A	4	3	2	①	
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	3	②	1	学生面談
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	B	4	3	②	1	振り返りシート、学生アンケート
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	3	②	1	講師会議事録、学生アンケート
3	2	41	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	B	④	3	2	1	各部会、学育カリマネ委員会教育課程編成委員会
3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	④	3	2	1	カリキュラム、各部会議事録、
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	④	3	2	1	実習要項、実習簿、評価表
3	2	83	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	④	3	2	1	教育課程編成委員会、実習指導者連絡会実習報告会
3	2	84	企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)があるか	B	④	3	2	1	実習要項、実習簿、評価表

3	3	中項目	成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか)							
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	4	③	2	1	成績・卒業→学則・学習のしおり	
3	3	2	学生や保証人(保護者)に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	③	2	1	成績・卒業→学習のしおり	
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	④	3	2	1	卒業判定会議資料	
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	3	2	①		
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)							
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	A	4	3	②	1	オリエンテーション	
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)							
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	④	3	2	1	授業概要	
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	3	2	①		

### ① 課題

- 学生へのアンケートは具体的な授業評価となっていない。
- 授業評価の評価方法・実施運営方法を定めていない。
- 各科目のコマシラバスがほとんど作成されていない。(一部教員のみ)

### ② 今後の改善方策

- 学生へアンケートの内容を検討する。(学校評価と別に実施する等)。
- 授業評価の実施運営方法を検討協議する。  
→学生への授業アンケート(定期・卒業時)の実施、授業評価チェックシートを使用してまずは教員及び講師の自己評価点検を実施する等。
- コマシラバスの運用について協議する。

### ③ 特記事項

4 学修成果・教育成果			カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1	エビデンス				
4	1	中項目	学修成果(各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか)						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	3	②	1	個別履修状況表
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	B	4	③	2	1	成績一覧
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているか)						
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	A	④	3	2	1	分析なし

4	2	2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	④	3	2	1	資格の推進
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	3	2	①	希望先の共有
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか(パンフレット・HP等)	B	④	3	2	1	記録なし
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率の向上が図られているか)						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか(目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか)	A	4	3	②	1	ヒューマン介護で対策講座を実施、時間割
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	④	3	2	1	パンフ、カリキュラム
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	④	3	2	1	パンフで共有
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	④	3	2	1	卒業式式次第への記載
4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・合格率)を公表しているか	B	④	3	2	1	パンフレット等
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか(卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか)	A	4	③	2	1	離職状況→6か月記録 お礼、訪問

① 課題

就職支援の在り方

② 今後の改善方策

体系的な就職支援の在り方について検討を行う。

③ 特記事項

5 学生支援			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1					エビデンス
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	③	2	1	面談記録
5	2	中項目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	A	4	③	2	1	保護者→なし 求人→共有 学生→文字
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	④	3	2	1	ひだまり設置
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	④	3	2	1	サポートシート記入
5	4	中項目	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	③	2	1	企業系奨学金等の要拡充
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	4	③	2	1	健康診断の実施 窓口なし

5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	④	3	2	1	CGG、上山中学校
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	4	3	②	1	ドミーを複数学校と共同で使用
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)						
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	A	4	③	2	1	分析なし
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	3	2	①	
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	3	2	①	
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	4	3	2	①	
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)						
5	6	1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	4	3	②	1	個別面談記録
5	6	2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	③	2	1	個別面談記録 学習相談課
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	B	4	③	2	1	校務分掌
5	7	21	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	B	4	3	2	①	
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	④	3	2	1	保育通信科

① 課題

退学希望者へのフォロー体制

② 今後の改善方策

就職支援を含めた学生相談の在り方について検討を行う必要がある。

③ 特記事項

6 教育環境			カテゴリ	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1				エビデンス	
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	4	③	2	1	学校設置認可申請書、学修のしおり、時間割、専修学校報告書
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	③	2	1	図書台帳、電子図書システム
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	4	③	2	1	各種設備、教育備品
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	3	2	①	禁煙ポスターのみ掲示
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	3	②	1	日直日誌
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	4	3	②	1	エレベーターや電気設備など点検結果報告書

6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	④	3	2	1	実施要項, マニュアル
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	④	3	2	1	事前指導テキスト
6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	4	③	2	1	防災士3名配置
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	④	3	2	1	消防点検報告書
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	3	2	①	不定期
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	③	2	1	不定期

① 課題

防災士を養成する学校として危機管理についての組織・マニュアル等の再整備が必要

② 今後の改善方策

規程等の整備と管理体制の整備について検討を行う。

③ 特記事項

7 学生の受入れ募集			カテゴリー	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1	エビデンス				
7	1	中項目	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	④	3	2	1	パンフレット, オープンキャンパス, 各種ガイダンス
7	1	2	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	④	3	2	1	ホームページ, パンフレット, ガイダンス等
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	④	3	2	1	ホームページ, パンフレット等
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	③	2	1	ホームページ, パンフレット等
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	④	3	2	1	総務課を中心とする支援体制
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	④	3	2	1	募集要項, パンフレット
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	B	④	3	2	1	A0入学前課題, スキルアップ講座実施
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	④	3	2	1	募集要項
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	④	3	2	1	選考方法, 選考結果資料
7	3	中項目	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	4	③	2	1	募集要項

7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	④	3	2	1	募集要項
---	---	---	----------------------------------	---	---	---	---	---	------

- ① 課題  
受験希望者の伸び悩み
- ② 今後の改善方策  
入試広報戦略の見直し
- ③ 特記事項

8 教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1			エビデンス	
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	4	③	2	1	専修学校報告書
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	3	2	①	
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	4	3	②	1	ハラスメント防止に係る規程, 就業規則
8	2	中項目	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	④	3	2	1	個人情報保護規程
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	④	3	2	1	個人情報保護規程
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	3	2	①	
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	3	②	1	職員会議議事録
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか(自己点検・評価報告書があるか)	A	4	3	2	①	自己点検結果のみ公表
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	3	2	①	
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	④	3	2	1	会議録, 委員会名簿
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	③	2	1	職員会議議事録
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	3	②	1	教育課程編成委員会議事録
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	3	2	①	
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	2	①	
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	3	2	①	
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	3	2	①	
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	④	3	2	1	ホームページ

8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	④	3	2	1	ホームページ
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	④	3	2	1	ホームページ

① 課題

自己点検評価の結果を振り返る機会がない。

② 今後の改善方策

自己点検評価結果を改善につなげる取組みを実施していく。

③ 特記事項

9 財務				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス	
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	③	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書、消費収支計算書、事業報告書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	3	②	1	予算書のみ、中期計画なし
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	3	②	1	予算書、理事会議事録、評議員会議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	3	②	1	予算執行表、月次予算チェック表
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	④	3	2	1	会計監査報告書
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)						
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	④	3	2	1	ホームページ
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	B	④	3	2	1	ホームページ

① 課題

単年度の計画のみ

② 今後の改善方策

中長期計画の策定を検討すべき

③ 特記事項

10 社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス	
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	③	2	1	サイボウズ, 利用案内, 利用の記録
10	1	2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	④	3	2	1	保育士等キャリアアップ研修, 沖縄県委託訓練(職業訓練)等
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	③	2	1	CGG, 上山中学校, 敬老会

① 課題

公開講座等の実施

② 今後の改善方策

SDGsの活動を含めた活動方針の策定など地域貢献のあり方について要検討

③ 特記事項

11 国際交流(必要に応じて)				カテゴリー	適切・4、ほぼ適切・3、やや不適切・2、不適切・1			エビデンス	
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)						
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	A	4	3	②	1	校務分掌
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	4	③	2	1	入管提出書類一式, 学籍管理
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	④	3	2	1	日本語サポート教員, ふり仮名の奨励
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	A	4	3	②	1	成績証明書

① 課題

留学生の受け入れ体制

② 今後の改善方策

組合を通じた受け入れと個人での受け入れがあり日本語能力に差が見られるためクラスの学習効果を鑑みた受け入れ体制検討

③ 特記事項

令和4年3月13日

学校関係者評価委員会  
委員各位

沖縄福祉保育専門学校

令和3年度「学生による学校生活及び授業評価アンケート」の結果について

## 1. はじめに

沖縄福祉保育専門学校では、学校運営の適正、授業方法のスキルアップを目指すことをねらいに、平成21年度から「学校評価 学生アンケート」「授業評価アンケート」を行ってきました。今年度も「ヒューマン介護福祉科」「こども未来学科」「保育通信科」の学生を対象とし、授業評価のみならず学校生活における評価のアンケートを実施しています。学生からの回答を取りまとめ、以下の内容に集約しております。今後の学校運営の助言、改善面の確認から、さらなるより良い学校運営を目指すことを目的にご報告させていただきます。

## 2. アンケート実施概要及び内容

### (1) アンケートの実施概要

- 実施の趣旨：学校運営の適正、授業方法のスキルアップを目指すことをねらいとして実施。  
「職業実践専門課程」への申請を機に、教育の質の向上を図ることを目的に、現状把握、課題確認から工夫、改善面の確認のため実施。
- 調査対象：令和3年度 本校学生（ヒューマン介護福祉科、こども未来学、保育通信科）の209名
- 実施形態：オンラインアンケートを用いて実施
- 回収率：30%の回収率

### (2) アンケートの内容

#### アンケートの質問内容

#### ① 学校運営について

1. 学園の建学の精神 及び 教育理念について理解できている。
2. 学習のしおり等、学校の規則について理解できている。
3. 学校は安心・安全に配慮した学校づくりをしている。

#### ② 設備について

3. 学校の施設・設備・防災設備は十分に整っている。
4. 専門の授業における教育設備・備品は充実している。
5. 校舎内外の美化、清掃に努力している。

③ 教育内容について

- 7.校外学習等の課外授業は充実している。
- 8.教育内容は、将来的に役立つものとなっている。
- 9.教育カリキュラム(科目等)は適切である。
- 10.教員は、学生の質問に対して適切に対応している。
- 11.各種手続きにおける、教職員の説明は適切になされている。
- 12 毎月の時間割編成には納得している

④ クラス担当について

- 13.学生指導に関する対応・処理は適切であり、納得している。
- 14.クラス担当は保護者と連携を取り、家庭と適切な連携を取っている。
- 15.クラス担当は、学生のことを理解しようと努力している。
- 16.クラス担当と良い信頼関係を築いている。
- 17.クラス担当は、学生1人ひとりの履修状況を把握している。

⑤ 授業展開について

- 18.授業内容は充実し、わかりやすく展開している。
- 19.教員や講師は、教材や演習等に工夫・努力している。
- 20.授業レベル・学習量は適切である。
- 21.教員の授業の進む速さは適切である。
- 22.配布資料やテキストは適切である。
- 23.総合的に、授業については満足している。

⑥ 広報活動について

- 24.入学を決めた際の学校・学科説明は適切だった(ガイダンス等)
- 25 入学に関する手続きは適切だった(入学金、オリエンテーション、テキスト販売、選考方法等)
- 26.学校からの学生募集に関する情報発信方法は適切だった(HP、SNS、パンフ、CM等)
- 27.入学する前に参加したオープンキャンパスの内容は充実していた。

⑦ 支援体制について

- 28.進学・就職に関する指導は充実している。
- 29.在学中の経済的支援制度が充実している。
- 30.学校への相談窓口は明確で、適切な対応が行われている。
- 31.学生の健康面や安全面における指導は、適切になされている。

⑧ 事務対応について

- 32.学校に電話した際の教職員の電話対応は親切・丁寧だった。
- 33.窓口での教職員の対応は適切だった。
- 34.教職員がおこなう事務対応は信頼がおけるものだった。

(回答方法)

上記質問に対し、学生の皆さんには次の5段階評価で回答していただきました。

- |                                                               |
|---------------------------------------------------------------|
| 1. まったくそう思わない 2. あまりそう思わない 3. よくわからない<br>4. 少しそう思う 5. とてもそう思う |
|---------------------------------------------------------------|

(5段階評価について)

学校運営、授業評価について、どちらであるのかを明確にする趣旨により、中間点を敢えて設定しなかったこと、また質問事項に対して明確にできない学生のために、

「3. よくわからない」という項目を設定した。

(アンケートの実施形態)

アンケートは、「Google Forms」を利用しメールや QR コードを利用して学生への回答依頼を行い、結果の集計を行った。また、去年度からの改善として卒業生も対象にアンケートを行った

(3) 各教員への授業評価アンケート結果の報告について

アンケートの集計は、学生支援課が行い、沖縄福祉保育専門学校の自己評価委員会を経て、各教員への通知を行う。

3. アンケートの結果について

各項目の内容と R2 年度との比較から、学校・学科・部署として改善すべき点やさらに工夫を重ねるべき点等、深刻な課題も出てくる一方、一定の評価・理解を得られている箇所もありました。

コロナ過での学習となり、単純な比較は難しいとは思いますが、学生の声をしっかり受け取り、教職員一同「より良い学校づくりのために」学校関係者評価委員の皆さまとさらに意見交換、協議を重ねさせていただき、これまで以上に学生にとって満足度の高い学校づくりへと邁進していきたいと考えております。